

令和2年1月期 経営状況概要

項目	予算額 (概算)	当月執行額	執行累計額	執行率	執行残高	執行+支出負担	対予算比
8. 水道事業収益	2,599,637	193,995	1,971,316	75.8%	628,321		
1. 営業収益	2,258,690	189,033	1,910,326	84.6%	348,364		
1. 給水収益	2,229,440	188,546	1,880,915	84.4%	348,525		
2. 受託工事収益							
3. その他営業収益	29,250	487	29,411	100.6%	△ 161		
2. 営業外収益	340,808	4,981	60,838	17.9%	279,970		
3. 特別利益	139	△ 20	151	108.8%	△ 12		
9. 水道事業費用	2,690,543	76,026	923,655	34.3%	1,766,888	1,080,598	40.2%
1. 営業費用	2,461,736	76,026	819,749	33.3%	1,641,987	973,723	39.6%
1. 原水及び浄水費	501,014	31,588	312,473	62.4%	188,541	373,153	74.5%
2. 配水費	376,717	17,959	218,959	58.1%	157,758	258,806	68.7%
3. 給水費	112,460	7,146	81,738	72.7%	30,722	86,919	77.3%
4. 受託工事費							
5. 業務費	164,252	13,136	122,185	74.4%	42,067	159,729	97.2%
6. 総係費	117,456	6,198	84,394	71.9%	33,062	95,114	81.0%
8. 減価償却費	1,131,737				1,131,737		
9. 資産減耗費	58,100				58,100		
10. その他営業費用							
2. 営業外費用	199,969		100,254	50.1%	99,715	100,254	50.1%
3. 特別損失	12,537		3,652	29.1%	8,885	6,622	52.8%
4. 予備費	16,301				16,301		
10. 資本的収入 (繰越含む)	1,151,379	924	23,542	2.0%	1,127,837		
1. 企業債	705,500				705,500		
2. 負担金・補償金	80,866		14,412	17.8%	66,454		
3. 補助金	183,333				183,333		
4. 出資金	172,304				172,304		
5. 加入金	9,376	924	9,130	97.4%	246		
9. その他資本的収入							
11. 資本的支出 (繰越含む)	2,549,793	6,499	603,607	23.7%	1,946,186	1,472,141	57.7%
1. 建設改良費	1,546,920	6,499	257,361	16.6%	1,289,559	1,125,895	72.8%
1. 取水施設整備費	66,059				66,059	30,800	46.6%
2. 導水施設整備費							
3. 浄水施設整備費	105,721	3,465	27,635	26.1%	78,086	78,036	73.8%
4. 送水施設整備費							
5. 配給水施設整備費	1,357,695	3,034	228,356	16.8%	1,129,339	1,014,898	74.8%
6. 管理施設整備費	2,055		1,369	66.6%	686	1,369	66.6%
7. 消防設備整備費	2,300				2,300	792	34.4%
8. 災害復旧費	13,090				13,090		
2. 企業償還金	702,873		346,246	49.3%	356,627	346,246	49.3%
3. 長期貸付金	300,000						
12. たな卸し資産購入限度額	47,968	1,850	21,499	44.8%	26,469	21,499	44.8%
①有収水量	7,779,100	644,662	6,512,062	83.7%	1,267,038		
②供給単価	286.59	292.47	288.84	100.8%	△ 2.24		
③給水原価	344.26	117.93	141.28	41.0%	202.98		
人件費	230,153	21,246	192,361	83.6%	37,792		
1. 収益的収支	185,660	18,396	153,673	82.8%	31,987		
1. 職員給与費	184,012	18,396	152,538	82.9%	31,474		
2. 報酬、賃金等	1,648		1,135	68.9%	513		
2. 資本的収支	44,493	2,849	38,688	87.0%	5,805		
* 職員給与費	228,505	21,246	191,226	83.7%	37,279		
職員給与費対給水収益							
1. 損益勘定職員	8.3%	9.8%	8.1%				
2. 全職員	10.2%	11.3%	10.2%				

合計残高試算表	A期首	B当月	C=B-A	備考
A. 固定資産	46,693,251	46,932,065	238,813	
*減価償却累計額	19,970,899	19,970,899		
B. 流動資産	3,130,163	3,461,186	331,018	
1. 現金預金	2,628,502	2,766,638	138,137	
2. 未収金	450,396	207,572	△ 242,824	
3. 貸倒引当金	△ 5,115	△ 5,115		
4. 貯蔵品	34,447	34,370	△ 77	
5. 前払費用・前払金	16,824	373,553	356,729	・工事前払金等
6. その他		79,052	79,052	・仮払消費税
D. 水道事業費用		871,820	871,820	
1. 営業費用		768,242	768,242	
2. 営業外費用		100,254	100,254	
3. 特別損失		3,323	3,323	
1. 借方合計=A+B+D	53,782,295	55,223,947	1,441,651	
E. 固定負債	11,719,131	11,719,131		
1. 企業債	11,460,827	11,460,827		
2. 引当金	258,304	258,304		
F. 流動負債	929,242	528,874	△ 400,368	
1. 企業債	697,683	351,437	△ 346,246	・償還元金
2. 未払金	216,415	22,294	△ 194,121	
3. 前受金	26	21	△ 5	
4. 引当金	14,621		△ 14,621	・賞与引当金
5. 資本的収入整理勘定				
6. その他	496	155,122	154,626	
うち仮受消費税		152,838	152,838	
G. 繰延収益	10,236,815	10,259,628	22,812	
1. 長期前受金	10,236,815	10,259,628	22,812	・償却資産に係る財源のうち、補助金、補償金・負担金・受贈財産等
* 〃 収益化累計額	3,958,876	3,958,876		
H. 資本金	10,683,621	10,683,621		
1. 自己資本金	10,683,621	10,683,621		・固有、繰入(出資)、組入
2. 借入資本金				=企業債元金-負債勘定へ
J. 剰余金	237,472	237,472		
1. 資本剰余金	22,900	22,900		・非償却資産にかかるもの
2. 利益剰余金	214,572	214,572		
K. 水道事業収益		1,819,066	1,819,066	
1. 営業収益		1,761,582	1,761,582	
2. 営業外収益		57,484	57,484	
3. 特別利益		141	141	
2. 貸方合計=E+F+G+J+K	53,782,295	55,223,806	1,441,510	

a. 供給単価 (円、銭)	265.99	=給水収益÷有収水量	
b. 給水原価 (円、銭)		原価算入額は受託工事収益、材料売却原価、特別損失を削	
①実数値	133.37	=原価算入額÷有収水量	当月予算
②シミュレーション	259.86	原価算入額に減価償却費の「経過月数/12」を加えたもの	
c. 施設利用率	70.84%	=一日平均配水量÷施設能力	
d. 有収率	85.20%	=有収水量÷配水量	
e. 流動比率	653.48%	=流動資産÷流動負債	
f. 現金預金比率	523.12%	=現金預金÷流動負債	

*供給単価、給水原価は損益ベースであること

令和2年1月期 業務実績報告書（水道管理課）

一 般 事 項

1 料金調定関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,074	303,835	303,600	304,256	235	△ 421
2 調定量	m ³	636,771	6,464,956	6,494,000	6,530,474	△ 29,044	△ 65,518
3 調定料金(税抜)	円	171,245,894	1,730,946,570	1,726,000,000	1,744,052,173	4,946,570	△ 13,105,603
4 口振加入件数	件	24,910	250,954	—	251,158	—	△ 204

2 給水業務関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
5 給水人口	人	78,826	—	79,839	△ 1,013
6 給水件数	件	29,935	—	30,001	△ 66
7 開栓処理件数	件	156	2,316	2,310	6
8 閉栓処理件数	件	171	2,551	2,549	2
9 給水工事設計審査	件	50	672	621	51
10 給水工事竣工検査	件	75	737	771	△ 34
11 経年メーター交換	件	83	4,176	4,057	119
12 メーター口径変更	件	1	51	55	△ 4
13 月末停止件数	件	5	110	111	△ 1

3 料金徴収関係

項 目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
14 当年度分	198,769,427円	89.43%	197,344,537円	89.52%
15 過年度分	4,372,067円	97.69%	4,699,984円	97.57%
16 計	203,141,494円	—	202,044,521円	—

4 給水装置工事指定業者 (市外1者廃止)

迫町	登米町	中田町	豊里町	米山町	南方町	津山町	東和町	石越町	市内計	市外計	合計
17	8	15	12	13	9	8	14	6	102	119	221

5 入札・契約

(左：当月 右：累計)

項 目	累 計 (落札件数 / 入札件数)		工事請負		設計業務		業務委託		物品購入		その他	
	5	92	3	58	1	9	1	6	0	19	0	0
入札件数	5	92	3	58	1	9	1	6	0	19	0	0
契約締結	一般	1	28	1	28	0	0	0	0	0	0	0
	指名	2	48	2	22	0	8	0	1	0	17	0
	随契	2	16	0	8	1	1	1	5	0	2	0
	合計	5	92	3	58	1	9	1	6	0	19	0

《中止 当月 0件 / 累計 2件》《不調 当月 0件 / 累計 5件》《取消 当月 0件 / 累計 0件》《未契約 0件》

6 竣工等検査

検査種類	累 計	当月件数	内 容
竣工検査	25	4	工事
中間検査	25	9	工事
合 計	50	13	

7 主な行事・会議

会 議 名	日 時	内 容
部長等連絡調整会議	7・29日	1月・2月 事業打合せ等
安全衛生委員会	14日	第10回 安全運転者研修会について 他
水道ブースター会議	—日	—
給水拠点設置訓練	30日	東和総合支所
所内連絡会議	23日	12月期 各種経営分析等
例月出納検査	27日	12月期 例月出納検査
指名委員会	23日	第23回
入札	16日	5件
緊急メールの発信	—日	漏水 15、破損 1、取停 5、水質 3、配備 1

特 記 事 項

1. 1月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

ア 収益的収支

当期の給水収益は171,406千円(税抜)で、前月期に比べて5,865千円の増、予算執行率84.4%(前年度84.7%)、対前年同月比(累計)では12,642千円の減となっています。営業収益は手数料収益487千円を含む189,033千円、営業外収益は事務手数料3,997千円、水道管破損等による補償金131千円の減で4,981千円、特別利益は20千円の減となりました。

当期の営業費用は76,026千円を執行し、累計額は923,655千円、予算執行率(累計)33.3%(前年度33.8%)となりました。営業外費用及び特別損失は当期の執行はありませんでした。

イ 資本的収支

当期の収入は加入金924千円を執行し、累計額11,375千円、予算執行率(累計)1.0%(前年度2.4%)となりました。

支出は、浄水施設整備費3,465千円、配給水施設整備費3,034千円を執行し、累計額568,452千円、予算執行率(累計)22.6%(前年度25.6%)となりました。

ウ たな卸し資産購入限度額

当期は薬品に1,850千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 登米市上水道事業運営審議会

1月29日(火)令和元年度第3回登米市上水道事業運営審議会を開催しました。「令和2年度登米市水道事業会計予算」「主要事業等」「登米市地域水道ビジョン財政計画」について説明を行い、審議いただきました。

主要事業、財政計画ともに妥当と判断いただき「事業計画に基づき遅滞なく進めること」「料金改定については、適正な給水計画を立て財政計画の精度を上げ、計画的に進めるとともに、丁寧な説明に努めること」との答申をいただきました。



審議会の様子

(2) 石越地区住民説明会

1月22日(水)に第2回登米市石越地区の給水区域変更に伴う説明会を開催しました。現在、栗原市の給水区域となっている石越町の一部が、令和2年4月1日から登米市の給水区域となることに伴う、諸手続き等について説明を行ったものです。

午後1時30分からと午後7時からの2回の開催で、対象者114名のうち、42名の方に参加いただきました。



説明会の様子

(3) 安全運転管理者研修会

1月7日(火)に安全運転者研修会を行いました。登米警察署の富田交通課長を講師に迎え、管内での事故発生状況やリーフレットを用いた講話の後、「ながら運転」の危険性を訴えるDVDの視聴を行いました。この研修会は、安全衛生委員会主催で毎年開催しているもので、今回は水道事業所職員や業務受託者等、28名が受講しました。



研修会の様子

(4) 資金管理運用委員会

1月14日(火)に資金管理運用委員会を開催しました。1月18日に3億円(みやぎ登米農協)の定期預金が満期を迎えることから今後の資金運用について協議を行い、同額を1年間の定期預金(みやぎ登米農協)とすることとしました。

令和2年1月期 業務実績報告書（水道施設課）

一般事項

経営分析の状況

◎ 配水量の状況

(単位：m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	計画累計 (C)	前年累計 (D)	比較 (E)	
					対計画 (B)-(C)	対前年度 (B)-(D)
総取水量	799,137	8,209,992	8,069,030	8,201,734	140,962	8,258
総配水量	748,612	7,643,670	7,513,060	7,575,227	130,610	68,443
1 有効水量	692,504	6,988,014	7,034,800	7,085,175	△ 46,786	△ 97,161
(1) 有収水量	644,662	6,512,062	6,536,400	6,576,262	△ 24,338	△ 64,200
(2) 無収水量	47,842	475,952	498,400	508,913	△ 22,448	△ 32,961
2 無効水量	56,108	655,656	478,260	490,052	177,396	165,604
(1) 漏水量	54,848	650,892	472,000	484,282	178,892	166,610
(2) その他無効水量	1,260	4,764	6,260	5,770	△ 1,496	△ 1,006
3 有収率	86.11%	85.20%	87.00%	86.81%	-1.81%	-1.62%

※ 当月期の最大配水量は、5日（火）に記録した【25,176m³】です。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位：件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
ア 取水施設整備事業	3	66,059	1	30,800			35,259	46.62%
ウ 浄水施設整備事業	11	105,721	5	50,401	4	27,635	27,685	73.81%
オ 配給水施設整備事業	76	1,321,199	36	786,541	24	193,201	341,457	74.16%

※ 件数及び金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計です。

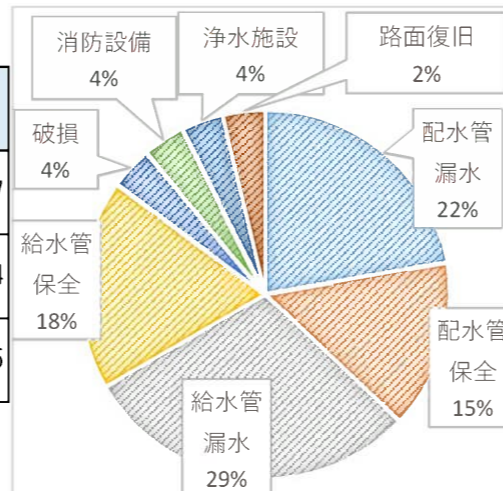
◎ 毎日検査

※ おいしい水の目安 遊離残留塩素 0.4mg/l以下

	保呂羽浄水場 F1 遊離残留塩素	保呂羽浄水場水系 (測定戸数：7)	東和町水系 (測定戸数：9)	石越町水系 (測定戸数：1)	大萱沢浄水場水系 (測定戸数：2)
平均	0.54	0.45	0.48	0.65	0.42
最高	0.60	0.66	0.80	0.70	0.50
最低	0.50	0.30	0.18	0.60	0.30

◎ 特定工事発注状況

	配水管 漏水	配水管 保全	給水管 漏水	給水管 保全	破損	消防 設備	浄水施 設	路面 復旧	その他	計
月計	6	4	8	5	1	1	1	1	0	27
累計	51	79	108	48	34	21	7	26	0	374
前年同 月累計	75	109	87	28	25	21	8	22	0	375



特記事項

1. 配水池清掃の実施について

1月9日（木）～1月17日（金）にかけ、保手配水池など3か所の清掃を行いました。今回の清掃は、断水せずに通常通り配水池を使用しながら、配水池清掃専用の水中ロボットにより底面の清掃及び水中ロボット搭載カメラによる内部点検を実施したものです。

配水池の水抜きや断水する必要がなく経済的に実施できるのが特徴となっています。

水中ロボットは家庭用ロボット掃除機と似ており、水中に沈め走行用ベルトで移動しながら底の沈殿物を吸引し、車体から伸ばしたホースを通じて外部に排出する仕組みとなっています。

清掃の結果、内面塗装膜の剥離片などの堆積物が見受けられ、来年度以降も計画的に配水池の清掃を継続的に行い、市民の皆さんへ安全な水道水の提供を行ってまいります。



水中ロボットにより清掃を行っている様子

2 東和町米谷地内で漏水が発生

1月2日、17時30分ごろ東和町米谷字大嶺地内で水道管の漏水が発生しました。漏水箇所は1981年に布設し39年が経過した水道管（塩化ビニール管φ75mm）で、水道管の継手部が老朽化により割れたことが原因でした。漏水箇所が送水管であり周辺で断水になる恐れがあったことから、配水池へ4.4m³を補水しながら施工を行い、翌3日正午に修理が完了しました。

水道事業所では、老朽化などにより発生する漏水を早期に発見するため、計画的に漏水調査を行うとともに、24時間体制により、速やかに漏水箇所の修理を行っています。また、漏水を未然に防止するため、老朽化した水道管の取替を計画的に実施していきます。



漏水箇所を掘削している様子



漏水箇所（接合部の割れ）

3 災害訓練の実施について

水道事業所では、大規模地震や漏水事故などが起きた場合に、災害対策の強化を図り迅速かつ円滑に行動が取れるよう計画的に訓練を実施しております。

今回の訓練は、大規模断水を想定し、対応方法の確認や災害本部設置等の初動訓練を実施しました。各班ごとに初期の対応や課題等について話し合いを行い、各班でもっと連携の強化を行い情報の共有をすることが重要であるとの意見が出されました。今後も訓練を積み重ね、災害対応力の向上を図ります。



訓練を行っている様子

4. 令和2年1月の漏水調査結果について

有収率向上対策のため、漏水調査を実施しています。1月末の漏水調査の結果は、11件14.378m³/h（累計）の漏水を発見しました。1月末での有収率は85.2%となっています。継続的に漏水調査を実施しながら、老朽管の更新工事を進め、令和元年度末で、計画有収率87.0%を目指します。

施設	件数	漏水量 (m³/h)
配水管	4	8.900
付属施設	0	0.000
給水管	7	5.478
計	11	14.378